

## No.2518

## 伊予富士～笹ヶ峰・赤星山

日 時 : 7月1日(金)夜発～7月3日(日)

参 加 : 右田(L)、鳴原、佐々木(記)

梅雨の前線が北に上がり白山は雨天予想、急遽四国の山に変更し3名で出発。

不安定な雲の流れから差し込む強い日差しの中、夏山を楽しんできました。

7月1日、新大阪 22時、鳴原車で出発。今回の山の初日は、愛媛県と高知県の県境に位置する。登山口の寒風山トンネル南口駐車場に向かって、中国・山陽高速と乗り継ぎ四国入りし4時間強で着。寒風山隧道への道はR194、細い旧道で今はあまり使われていないようである。売店のある20台以上止められそうな駐車場には、1台のみ。屋根付きの休憩所に、テントを張らせてもらって快適に仮眠。

7月2日(土) 5時30分起床、長い山の始まりだ。寒風山の道標からスタート。桑瀬峠(1451m)まで350mの登りではあるが、夜からの風がまだ残っており気持ち良い。先ずは途中で出会った沢蟹・アザミ花と、ご来光が印象的でした！広々とした桑瀬峠から伊予富士までの標高300mの道は、第二の試練。富士と言えども富士らしくない山は、途中のピークからの眺めは、大きな凸凹の山。伊予富士(1756m)から、西に向かって大きく瓶ヶ森から石鎚山に連なる。今辿ってきた東方向の山の先には、寒風山・笹ヶ峰・先には赤石山へと連なっている。一服後ピストンして寒風山へ戻るが、太陽光が強烈で体力の消耗が激しい。ポツポツと登山者が見えてくる。寒風山(1763m)で本日の山行のほぼ中間点、帰りもこの道に戻るのかと思うと気が滅入る思い。道の登り下りを繰り返しながらも、さらに高いみを目指す。腹を空かして、笹ヶ峰(1860m)に着いたのは歩き始めて5時間である。さすがに隠れるところの無い笹ヶ峰頂きでは、少しでも影と風を求めて座り込む！。昼食を取りながらの眺望は、遠近たくさん山々に囲まれて素晴らしい。笹ヶ峰への直接道が、すぐ下に続いている次回はこの道が良さそう。帰りは、寒風山・桑瀬峠へと広い眺めを見ながら下る。熱中症か、さらに駐車場まではスピードダウン、皆さんの足を引っ張ってしまった。売店前はいっぱい車オートバイ、ドライブ途中の休憩所のような。明日の山への起点に移動する。途中、スーパーで食材を確保して、別子銅山の道の駅でお世話になる。

風呂や観光施設がある立派な場所である。

駐車場寒風山登山口 6:00—6:45 桑瀬峠—7:46 伊予富士 7:58—8:42 桑瀬峠 8:50—9:40 寒風山 9:45—11:06 笹ヶ峰 11:37—12:46 寒風山 12:52—13:35 桑瀬峠 13:40—14:12 駐車場(移動、別子銅山道の駅 17:20) 行動: 8時間12分

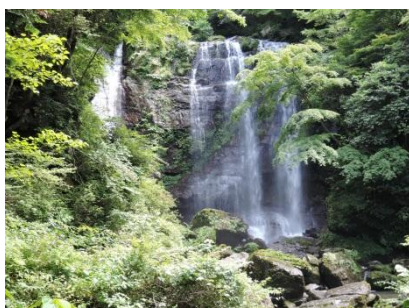
7月3日(日) 5時に起床し朝食後、本日の赤星山の起点、30分程の野田登山駐車場へ向かう。途中まで道は判りにくいが10台程のスペースに到着、2～3台の先着車があった。早速、大地川沿いの登山者を登り始めると綺麗な溪谷道であり、次々と大きな滝に驚かされる。機滝(おり滝)、紅葉滝、今回は登らなかったが布引滝、他面白い滝沿い道だ！鳴原さんに言わせれば、沢登りが楽しそうな地元の隠れた登山道。改めて山行計の有力候補の一つになりそうだ。沢筋から外れ、最後の急坂をジグザグに登り切ると、赤星山(1453m)に出る。頂上は広く、これまた瀬戸内海の眺めが素晴らしい！。赤星山は、愛媛の燧灘(ひうち灘)に面した土井に位置し、山頂を中心に四方に水量豊かな沢筋がある。単独峰のようだ。登山道も反対側からの道や、すぐ横の豊受山(1247m)への道もありなかなか面白い、夏にはもってこいの山である。ゆっくりと休憩し、下山する。途中に地元(高松?)バスツアーで出来たという団体さんとすれ違うが、皆さんしんどそうであるが楽しんでいるみたいだ。沢筋の冷

たい水場で、ソーメンを食す。嶋原車に常備していた、笹とコップェルがものを言う。夏の暑さには最高、うまい！。 駐車場には、団体さんのバスもあり、満車状態。沢で汗を洗って一息ついて、帰阪。松山道、瀬戸大橋から大阪へ。 右田リーダー、嶋原さん、お疲れさんでした。 楽しい山ありがとうございました。

(別子銅山道の駅 6:45) - 7:20 野田登山口 7:30-11:00 赤星山 11:20-14:00 駐車場 14:30- (帰阪) 行動: 6時間30分



伊予富士山頂



機滝 (はたたき)



赤星山頂